

R11-13-2117

(19)日本国特許庁 (JP)

## (12) 公表特許公報 (A)

(11)特許出願公表番号  
特表2001-507834  
(P2001-507834A)

(43)公表日 平成13年6月12日 (2001.6.12)

(2)

(51) Int.Cl.<sup>7</sup>  
G 0 6 F 15/18  
G 0 5 B 13/02  
19/418識別記号  
5 5 0F I  
G 0 6 F 15/18  
G 0 5 B 13/02  
19/418テマコード\* (参考)  
5 5 0 C  
B  
Z

審査請求 未請求 予備審査請求 有 (全 19 頁)

(21)出願番号 特願平10-530111  
 (86) (22)出願日 平成9年12月29日 (1997.12.29)  
 (85)翻訳文提出日 平成11年6月23日 (1999.6.23)  
 (86)国際出願番号 PCT/US97/23496  
 (87)国際公開番号 WO98/29785  
 (87)国際公開日 平成10年7月9日 (1998.7.9)  
 (31)優先権主張番号 60/034,125  
 (32)優先日 平成8年12月31日 (1996.12.31)  
 (33)優先権主張国 米国 (US)  
 (81)指定国 EP (AT, BE, CH, DE, DK, ES, FI, FR, GB, GR, IE, IT, LU, MC, NL, PT, SE), BR, CA, CN, JP, SG

(71)出願人 ローズマウント インコーポレイテッド  
アメリカ合衆国 55344 ミネソタ州、エ  
デン ブレイリー、テクノロジー ドライ  
ブ 12001  
 (72)発明者 エリューレク, エブレン  
アメリカ合衆国 55410 ミネソタ州、ミ  
ネアポリス、ヨーク アベニュー サウス  
4952  
 (74)代理人 弁理士 田中 香樹 (外1名)

(54)【発明の名称】 現場装置からの制御信号を有効化するためのプロセスシステム内の装置

## (57)【要約】

プロセス制御システム (2) の装置 (40) は、一連の、感知されたプロセス変数と学習されたプロセス・サイクルを表わす命令出力とを記憶するためのメモリ (48) を含む。比較回路 (80) は、現在のプロセス情報とメモリ (48) に記憶された、学習されたプロセス情報とを比較し、それに応じて有効化された出力信号を供給する。方法は、プロセスを反復学習し、ある期間にわたって記憶されたプロセス変数と制御信号とから成る学習されたプロセス情報を供給すること、プロセス内のプロセス変数を測定し、それに応じて制御出力を算出すること、制御出力内のプロセス変数を記憶して現在のプロセス情報を供給すること、および現在のプロセス情報を学習されたプロセス情報を比較し、それに応じて有効化された出力信号を供給することを含む。

